



Subaru

男声合唱団 ニュースNo522

‘15. 9. 9

合発曲「春を待つ」「道」レッスン(一口メモ)

臨時特別号

□「春を待つ」「道」は9月22日の大阪うたごえ合唱発表会での合唱曲目として、また来年1月の第10回記念コンサートの演奏曲目として、毎回のレッスン曲として仕上げてきました。これまでの練習メモに最近のレッスン時のコメントを入れ、参考資料として書いてみました。(編集子)

男声合唱組曲

雪明りの路 詩：伊藤 整 作曲：多田武彦

一、春を待つ

ふんはりと 雪の積った山かげから
冬空が きれいにきれいに晴れ渡ってゐる。

うっすら寒く
日が暖い。
日向ぼっこする まつ毛の先に
ぼっと 春の日の夢が咲く

しみじみと 日の暖かさは身にしむけれど
ま白い雪の山越えて
春の来るのは まだ遠い。

(「春を待つ」 レッスン一口メモ：2月20日) (追加：6月19日) (追加：9月4日近藤ピアノ)

ふんわりとゆきのつもったやまかげから

- 出だしの「ふんわりと」の雰囲気を中心に描いてすぐつかんで！
- 出だしの「ふんわりと」と「ゆき」の「ゆー」の音程をしっかりと確保する！下がらない！特にBRとBSしっかりと！！絶対はずさないで！！
- 「やまかげから」：きれいな声で！

冬空が きれいにきれいに晴れ渡っている

- BS/BR「ふゆぞらがー」：「がー」をもっと鳴らして！
- 先のパート「ふゆぞらがー」 後のパート「ふゆぞらがー」：ちょっと“追っかけあい”をしよう。大きくなくてよい！
クレッシェンド dim Poco piu mosso(少し速く)で
- 「きれいにきれいに」：本当に“きれいに”うたってほしい。優しい声で表現して！
- 「晴れわたっ ているー」：“いるー”の“るー”が揺れている！？押し気味にしっかりと、揺れないで！ー
Poco rit. dim a tempo

- ・T1・T2「きれいにきれいにー」「晴れわたっ ているー」:「きれいにきれいにー」でクレッシェンドになって、切らないで、続けて「晴れわたっ ているー」に渡してほしい。
- ・BS・BRはT1・T2が「きれいにきれいにー」と歌っている間、直前の「冬空がー」の「がー」を続けて支えてほしい。「晴れわたっている」を一緒にそろえて出ること。

ひなたぼっこする まつげのさきに ぽっとー

- ・「まつげ」の「ま」:破裂するように“ま!”。横へひしゃげた“ま”は駄目!上品に縦に声出して!
:テナーはもっと明るい「まつげ」を!
- ・「ぽっとー」:「ほ」の音をもっと出して!音を鳴らして! 「ほ」の音程各パートしっかり確保!!
「とー」ははっきりした音を出して!
「ぽっとー」は大事な詞、各パート音程外さずにしっかりと音を鳴らして!不協和音の面白さ!!

はるのひのゆめがさく

- ・「はるのひのー」:各パート音程しっかり!
- ・「ゆめがさくー」:夢を持って!この言葉を表現しよう!
「ゆ」の表現:「ゆ」を大事に、やや長く保って「ゆめがー」と。「ゆ」の出し方は押さないで!
「さく」の「さ」押さないで!「さ」がしっかり出て「く」をきれいに!「くー」:バリトン以外のパート同じ音を下からずにはっきり音を保って!バリトン「ド」から「シ」に下がるタイミングあわてないで!
「ゆ」と「め」を二つに分割して、タクト(指揮棒)よく見て、合わせて!「ゆる めえ」と。

しみじみと:もっと思いを込めた表現で!

まっしろいゆきのーやまこえてーはるはまだとおい

- ・「まっしろいゆきの」の「まっしろい」はふわーとした雪の感じを表現する。あまり力まずに、
- ・「ゆきのー」を切らないで続けて「やま」へ
- ・「やまこえてー」しっかり続けて!フォルテ(f)で!「はる」に続く切るタイミングをしっかりと合わせる!
- ・「まだとおい」:テナーの音程確保!
「まだとおい(フェルマータ)」:音を良く確保して、すぐ終わってしまわない、雰囲気をつけて!



鳥取県・大山(別名:伯耆富士、標高 1,729m) 山本力さん撮影

道 L.オシャーニン 作詞 A.ノビコフ 作曲 中央合唱団 訳詩

①

1. 2(solo) おお！道よ 立つほこり 寒さに震え 茂るプーリャン

②

1. 明日をもわれ知らず いつ荒れ野の露と消えん
2. カラスは上に舞い 友はプーリャンの中に眠る

③

1. ほこりは畑に 野辺に 山に
あたりは火の海 弾丸(たま)は飛ぶ おお！－(①の2(solo)へ)
2. けれどなお道は ほこり込めて
ほのおはてもなく 燃え上がる おお！－

④

3. おお！道よ 立つほこり 寒さに震え 茂るプーリャン
林に陽は昇る 故郷出で母思う

⑥

4. (solo) おお！道よ 立つほこり 寒さに震え 茂るプーリャン
おお！ 友よ 思い出さん

⑦

ほこりの道 忘れられぬ ああ~~~~~

(5月29日 吉田レッスン)(9月4日 レッスン)

①

1. 2(solo) おお！道よ 立つほこり 寒さに震え 茂るプーリャン

1. 「おお道よ」：(ソロ)出だしていねいに、少し荒っぽい感じは駄目、最初の“おお！道よ”の声大事にして！

②

1. 明日をもわれ知らず いつ荒れ野の露と消えん

バックコーラスは大きくなりすぎないこと。抑え気味で。Soloの主旋律の声を引き立たせること。
テナーはファルセットで。ただし、言葉は鮮明に、ハッキリと出して！

②

2. カラスは上に舞い 友はプーリャンの中に眠る

「カラスは上に舞い」：テナーは一番高い声だが、「は」は大きく出さない。“からす”をはっきりと。

「うえにまい」：リズムを合わせてはっきりとした言葉で！

「カラスは」：バリトンはクレッシェンドで、お腹でしっかり支えて。「か ら す は うえにまい」と一音一音はっきりと

「友はプーリャンのなかにねむる」：pからppへ、内面の気持ちを声に出して、静かな感じで、

「ねむる」：「ね」「む」「る」一音一音が軽く聞こえては駄目！やや重々しく、「るーー」は響かせてのぼす！

③

1. ほこりは畑に 野辺に 山に

あたりは火の海 弾丸(たま)は飛ぶ おお！－(①の2(solo)へ)

「ほこりは畑に 野辺に 山に」：言葉ははっきりと！何を言っているのか？解らないのでは困る。

「やまに」：もっと縦の声で、平べったい声は駄目！

「あたりは火の海 弾丸(たま)は飛ぶ おお！－」：「あたり」の「あ」音程しっかりと！

「おお！—」1回目の「おお！—」は dim で小さく、しぼんでいく、声もテンポも揃えて！

BRは「おおー」と歌わない。「とぶうー」とのぼす。

③

2. けれどなお道は ほこり込めて

ほのおはてもなく 燃え上がる おお！—

「けれどなお道は ほこり込めて～ 燃え上がる—」:mfで、バンと調子を変えて、「けれど なお 道は」から抑揚を生かして一語一語はっきりと！クレシェンドへ

もっと急き込んで、急ぎ気味に、一語一語気持ちをこめて、立て続けに表現する。

「おお！—」:2回目の「おお！」は声を外へ出して！

BRは一番と同じく、「おおー」と歌わない。「あがるうー」と”ラ”音の”るう——“をしっかりと伸ばして、「おおー」の”ソ“の音とぶつけて不協和音で良し。ごまかした音でなく、ハッキリした音で、お互い伸ばした音で歌う。「おおー」よく聞こえるように。

④

3. おお！道よ 立つほこり 寒さに震え 茂るプーリャン

林に陽は昇る 故郷出で母思う

「おお！」とびっくりマークが出ている。BR・BS:弓を弾く声で、しっかり張って！ 唐突に出さずに、気持ちの上で準備して「おおー！」と出す。

「～林に陽は昇る—」までfでしっかり響かせて！ 男らしく、きっぱりと、しっかりした声で！

「はやしに～」:BR 主旋律、きれいな f で、“はー”は平板な声は駄目！ 縦に！こもらいで！

「のぼる——」:フェルマーターでのぼして！

「林に陽は昇る」:トップテナー頑張って声出して！ファルセット駄目！ “るうーうーうー”テナーの頑張りどころ！

「ふるさと出で母思う」:意識は遠く故郷を思って、声に意識が反映されるから・・・

「おもう」の「うー」音揺れないで！

⑥

4. (solo) おお！道よ 立つほこり 寒さに震え 茂るプーリャン

おお！ 友よ 思い出さん

⑥

4(solo)「 おお！道よ 立つほこり 寒さに震え 茂るプーリャン」

(solo)「 おお！道よ」:同じ寒いその場所に心は在って歌う。重々しい気分で、暗い声で！

(solo):最後の「おお！ ともよ」:「おお！」も“ドス”を入れない。まっすぐに「おお！」と、少しのぼして「友よ」へつなげて！

「おお！ 友よ 思い出さん」:バックの「おお！友よ」はppで。

⑦

ほこりの道 忘れられぬ ああ~~~~~

最後の「あーあー」は意識はふるさとへ！最後まで責任もって出して！

最後の(全員)で、「ああ！——ああ！——」:(D マイナーセブン) 広がる感じでのぼして！詰まった声でなく！